

これ寿命品の遠序なり。始成四十余年の積尊、一劫・十劫等已前の諸仏を集て分身ととかる。さすが平等意趣にもにず、をびただしくをどろかし。又始成の仏ならば所化十方に充滿すべからざれば、分身の徳は備たりとも示現して多きなし。天台云、「分身既に多し、当に知るべし、成仏の久しきことを」と等云云。大会のをどろきし意をかゝれたり。

其上に地涌千界の大菩薩、大地より出来せり。積尊に第一の御弟子とをぼしき普賢・文殊等にもにるべくもなし。華嚴・方等・般若・法華經の宝塔品に來集せる大菩薩、大日經等の金剛薩埵等の十六大菩薩なんども、此の菩薩に對当すれば、獼猴の群中に帝釈の來給がごとし。山人に月卿等のまじわれることならず。補処の弥勒猶迷惑せり。何況其已下をや。此千世界の菩薩の中に四人の大聖まします。

所謂上行・無辺行・淨行・安立行なり。此の四人は虚空・靈山の諸大菩薩等、眼もあはせ心もをよばず。華嚴經の四菩薩・大日經の四菩薩・金剛頂經の十六大菩薩等も、此の菩薩に對すれば、翳眼のものゝ日輪を見るがごとく、海人が皇帝に向奉がごとし。大公等の四聖の衆中にあつしにたり。山の四皓が惠帝に仕にことならず。巍々堂々として尊高也。釈迦・多宝・十方の分身を除ては、一切衆生の善知識ともたのみ奉ぬべし。弥勒菩薩心に念言すらく、我は仏の太子の御時より三十成道、今の靈山まで四十二年の間、此界の菩薩・十方世界より來集せし諸大菩薩、皆しりたり。又十方の淨・穢土に或は御使、或は我と遊戯して、其国々に大菩薩見聞せり。此大菩薩の御師などはいかなる仏にてやあるらん。よも此釈迦・多宝・十方の分身の仏陀にはにるべくもなき仏にてこそをはすらめ。雨の猛を見

て竜の大なる事をしり、華の大なるを見て池のふかきことはしんぬべし。此等の大菩薩の来る国、又誰

と申十仏にあいたてまつり、いかなる大法をしゅうしゅう給らんと疑し。あまりの不審さに音をもいだすべくもなければ、仏力にやありけん、弥勒菩薩疑二云、一無量千万億、大衆の諸の菩薩は、昔より未だ曾て見ざる所なり。是の諸の大威徳、精進の菩薩衆は、誰か其の為に法を説き、教化して成就せる。誰に従つて初めて発心し、何れの仏法を称揚せる〇世尊我昔より来、未だ曾て是の事を見ず。願わくは其の所従の、国土の名号を説きたまえ。我常に諸国に遊べども、未だ曾て是の事を見ず。我此の衆の中に於て、乃し一人をも識らず。忽然に地より出でたり。願わくは其の因縁を説きたまえ二等云云。天台云、一寂場より已降、今座より已往、十方の居士、来会絶えず、限るべからずと雖も、我補処の智力を以て悉く見、悉く知る。而れども此の衆に於て一人をも識らず。然るに我十方に遊戯して諸仏に觀奉し、大衆に快く識知せらる二等云云。妙樂云、一智人は起を知り、蛇は自ら蛇を識二等云云。経釈の心分明なり。詮ずるところは、初成道よりこのかた、此土・十方にて此等の菩薩を見たてまつらず、きかざると申十なり。

仏此の疑答二云、一阿逸多〇汝等昔より未だ見ざる所の者は、我是の娑婆世界に於て阿耨多羅三藐三菩提を得已つて、是の諸の菩薩を教化示導し、其の心を調伏して道の意を發さしめたり二等。又云、一我伽耶城菩提樹下に於て坐して、最正覚を成ずることを得て、無上の法輪を転じ、爾して乃ち之を教化して、初めて道心を發さしむ。今皆不退に住せり。乃至、我久遠より来、是等の衆を教化せり二